

令和 7 年度当初予算 主要事業概要（教育費）

かつしか教育プラン（2024～2028）は、
「かがやく未来をつくる力をはぐくむ ～ 共に学びあい 支えあうまち かつしか ～」を
計画の目指す姿としてまとめ、3つの基本方針に基づき主要事業を推進していきます。

◆基本方針 1

子ども一人一人が生き生きと学び生きる力を培う学校教育を推進します

【学校施設総合管理等業務委託の拡大】

教育総務課（184, 413千円）

現在6校で実施している学校施設総合管理業務委託(注)及び学校用務業務委託について、
より効率的かつ安定した業務執行体制を確立するため、7年度から学校用務業務委託を4校
から8校へ拡大し、学校施設総合管理業務委託の2校と合わせ10校を委託します。

（注）学校用務業務及び学校施設開放業務の一部（学校施設等使用申請受付、学校施設開放
管理等）を総合的に行う業務

【学校施設の改築】

学校施設整備担当課・学務課（6, 919, 583千円）

良好な教育環境を維持するため、通学区域の変更等も視野に入れつつ学校の適正規模を確
保し、地域とのつながりも重視しながら、学校施設の計画的な改築を推進します。

また、改築基本構想・基本計画の策定に当たっては学校別に懇談会を設け、学校や保護者、
地域の方々などと意見交換をしながら進めます。

7年度は引き続き改築を進めます。

（1）改築校

水元小学校、道上小学校、二上小学校、よつぎ小学校・四ツ木中学校、宝木塚小学校、
常盤中学校、柴又小学校・東柴又小学校、東四つ木小学校・中川中学校、小松南小学
校

【快適な学校環境の整備】

学校施設課（481, 182千円）

誰もが安心して学校生活を送り、災害時にも高齢者や障害のある方が安心して学校避難所
を利用できるよう計画的に学校施設のバリアフリー化や学校トイレの洋式化を推進します。

7年度は、小学校6校にスロープを設置するほか、小学校2校・中学校1校に車椅子使用
者用トイレを設置します。また、小学校9校・中学校7校において和便器の洋式化等を行いま
す。

【計画的・予防的な修繕の推進】

学校施設課（１，６２２，２７１千円）

公共施設をできる限り長く、安全かつ快適に使えるようにするため、計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を図ります。施設の日常点検や各種調査結果を生かしながら、葛飾区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みます。

（１）小学校１０校（特別支援学校１校を含む）

梅田小学校、南綾瀬小学校、奥戸小学校、青戸小学校、白鳥小学校、南奥戸小学校、東綾瀬小学校、上小松小学校、東水元小学校、保田しおさい学校

（２）中学校８校

水元中学校、奥戸中学校、堀切中学校、双葉中学校、立石中学校、一之台中学校、青戸中学校、新小岩中学校

（３）日光林間学園

【学校給食費の完全無償化・学校給食弁当対応者への補助】

学務課（１，７３１，３０３千円）

児童・生徒の心身の健全な発達と保護者負担の軽減を目的に、学校給食費の完全無償化を５年度から開始し、６年度からは重度の食物アレルギー等の理由により学校給食を全く喫食せず弁当を持参している児童・生徒の保護者についても、学校給食費相当額の補助を実施しています。

７年度も学校給食費の無償化を継続します。

【修学旅行費・一部副教材費等の無償化】

学務課・教育指導課（６４８，６７４千円）

義務教育期間にかかる子育て世帯の経済的負担を軽減し、ゆとりをもって子育てできる環境の充実を図るため、小学５年生の臨海学校のほか、小学６年生の林間学校や中学２年生の移動教室、中学３年生の修学旅行、一部の副教材の費用を無償化します。

【熱中症対策用テントの購入】

学務課（５０，８３２千円）

平成２２年度に「葛飾区夢と誇りあるふるさと葛飾基金」を創設し、これまでにたくさんの寄附が寄せられています。寄附された方々の「ふるさと葛飾」への思いを実現するため、当該基金を活用した事業を実施します。教育委員会では、熱中症対策に活用するため、全ての区立学校にテントを配備します。

【総合的な学力向上事業～次代に活躍する人材の育成～】

教育指導課（１１４，６３２千円）

これまでの学力向上の取組を更に発展させるとともに、ＩＣＴの活用による子ども一人一人の個別最適な学びの実現や、情報活用能力の向上のための取組を進めます。また、ＩＣＴを活用した教員の指導力向上や、ＰＤＣＡサイクルに基づいた授業改善の取組を推進します。さらに、小学校への学習指導補助員の配置、中学校における家庭学習の取組、タブレット端末を活用した自学自習等の取組を総合的に進めます。

７年度は小学５年生から中学２年生の「読み解く力」を育むことをめざし、新聞記事を教材にしたワークシートを導入します。また、６年度から実施している、かつしかチャレンジプログラムの取組に、学校での学習をもとにした「考える」「つくる」「解決する」活動を通して、意欲が高い子どもの学びに向かう力や能力を高める理数分野コースを新設します。

【教育情報化推進事業】

学校教育推進担当課（２，４２７，４１１千円）

人工知能（ＡＩ）やビッグデータ、ＩｏＴ等の高度な技術が社会を大きく変えていく中で、未来の創り手となる子どもたちが、これからの時代に求められる資質・能力を確実に身に付けることができるよう、学校におけるＩＣＴ環境の充実やＩＣＴ推進体制の確保等に取り組み、ＩＣＴを活用した「主体的・対話的で深い学び」や教員の働き方改革等、教育ＤＸの更なる推進を図ります。

７年度は、児童・生徒用の１人１台タブレット端末を８年４月に配付するため、新端末の調達及び設定作業を進めます。また、校務データを活用して学校や学級の状況をグラフや表などで可視化する校務ダッシュボード機能を校務支援システムに導入し、学校及び学級の運営の更なる充実を図ります。

【体力向上のための取組】

教育指導課（５，９３７千円）

子どもの体力の一層の向上のため、引き続き「かつしかっ子体力アッププログラム」を実施し、子どもが学校で運動する機会を増やします。また、小学１年生の体育の授業において、外部指導員と連携し、基本的な体の動きを楽しく身に付ける「小学校体力向上プログラム」を、中学校の保健体育の授業においては、外部有識者と連携し、体を動かす楽しさや心地よさを味わえる「中学校体力向上プログラム」を実施します。

【かつしかチャレンジプログラム】

教育指導課・学校教育推進担当課（一部再掲）（３０，１２１千円）

学習や能力向上への意欲が高い区立小・中学校の児童・生徒を対象に、土曜日や長期休業中に活動し、もてる能力を更に向上させるための、「かつしかチャレンジプログラム」を開設します。

7年度は、小・中学生を対象に「自然科学コース（科学教室）」「プログラミングコース」「理数分野コース」を、中学生を対象に「English Challenge コース」を実施し、思考力やコミュニケーション能力等の更なる育成を図ります。

【発達障害の可能性のある子どもに対する重層的な支援体制の充実】

学務課・総合教育センター教育支援課（207, 284千円）

教員が巡回指導を行う「特別支援教室」を全ての小・中学校で実施します。また、多層指導モデル（デジタル版MIM）を全ての小学校で引き続き実施します。

7年度は、「クラス支援員」の配置時間を拡大するとともにデジタル教材を導入し、発達障害等のある児童・生徒が、円滑な学校生活を送れる学習環境を整えます。また、子どもとの関わり方に困っている保護者向けの「ペアレントトレーニング」の定員を拡大して実施します。

【日本語指導の充実】

学務課・教育指導課・総合教育センター教育支援課（76, 497千円）

来日直後等で、日常の学校生活で使う日本語や生活習慣を身に付ける必要がある子どもに対して日本語の初期指導を行う「にほんごステップアップ教室」を運営します。また、「日本語学級」において、授業に必要な日本語の指導を行います。さらに、日本語の理解が十分でない子ども及びその保護者と教職員との間の意思疎通を円滑に行えるよう、日本語通訳を派遣します。

【不登校対策プロジェクト】

学校施設課・学務課・総合教育センター教育支援課（114, 207千円）

登校できない状況にある子どもを支援する「ふれあいスクール明石」の運営や教室に入ることができない子どもを支援する「校内サポートルーム」の設置、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用した支援など、一人一人の状況や課題に応じた様々な支援策を講じ、学校や総合教育センターが家庭と連携して子どもの将来に向けた社会的な自立を支援します。

7年度は、「ふれあいスクール明石」の受入対象の拡大や不登校児童の登校をサポートする支援員の配置など、様々な支援に取り組みます。また、「校内サポートルーム」を小学校2校、中学校5校で開設します。さらに、8年度に向け、中学校5校の開設準備を行います。

【いじめ防止対策プロジェクト】

教育指導課（5, 802千円）

区、学校、地域が連携・協力していじめ防止の徹底を図るほか、「葛飾区いじめの未然防止・早期発見・早期対応スタンダード」を活用し、いじめの兆候が見えた場合は、当該学校において速やかに学校いじめ対策委員会で協議し、初動の段階から組織的な対応を行います。

◆基本方針 2

家庭・地域・学校が連携して子どもの豊かな成長を促します

【家庭教育支援事業】

地域教育課（４，３４５千円）

子育て中の家庭や子どもの育成に関わる活動を行う保護者組織等に対して、家庭教育に関する啓発や学習機会の提供、活動支援を行います。また、よりよく生きていくための礎となる生活習慣と基礎的な社会ルールについて、乳幼児期から身に付ける大切さや必要性などの理解を深めるため、「早寝・早起き、朝ごはんカレンダー」と「かつしか家庭教育のすすめ」を作成・配布し、学びの出発点である家庭の教育力向上を図ります。

【学校地域応援団活動支援】

地域教育課（１７，３３４千円）

地域の方々の力により学校を支援する学校地域応援団は、区立小・中学校７２校全校に設置されており、各校の地域コーディネーターが抱える様々な課題や悩みを解決するため、地域コーディネーターの情報交換の場や具体的な活動に資する研修会を開催するなど支援の充実を図ります。また、参考事例となる活動内容の詳細を掲載した活動紹介集を作成・配付することにより多様な活動の促進を図ります。さらに、各学校地域応援団による活動を区の広報紙や公式ホームページ、SNS等を活用し情報発信することなどにより、地域の方が気軽に学校の支援に参加できる環境づくりに取り組むと共に、応援団と一体的に地域学校協働活動を推進する学校運営協議会の設置を進めます。

【中学校部活動の地域移行】

地域教育課（３３，４５９千円）

生徒の豊かなスポーツ・文化活動の機会の確保に取り組めます。

地域移行のモデル事業を継続し、得られた検証結果を踏まえ、関係団体と区で構成する協議会において、７年度末を目途に中学校部活動の地域連携・地域移行の推進のための基本的な方針を策定します。また、学校の状況を踏まえ、引き続き部活動顧問指導員や外部指導者の配置充実を図ります。

７年度は、新宿中学校に加え、中川中学校及び四ツ木中学校の２校合同でモデル事業を実施します。

【学校施設等を活用した放課後子ども支援事業】

放課後支援課（６３８，７７４千円）

待機児童ゼロを目指し、学校改築にあわせた校内学童保育クラブの整備をはじめ、緊急対策としての放課後居場所事業「かつしかプラス」の実施校拡大や夏季一時学童保育の受入枠の拡大を進めます。また、全ての児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験ができ

る環境を整備するため、より効果的な事業展開の検討を進めます。

7年度は、水元小学校及び二上小学校内に学童保育クラブを整備します。また、「かつしかプラス」の実施校を4校から8校に拡大するとともに、夏季一時学童保育は2クラブで受入枠を拡大します。

◆基本方針 3

生涯にわたる豊かな学びを支援します

【校庭遊び場開放事業における実施校の拡大】

教育総務課（４４，３０３千円）

小・中学生を対象として土・日曜日、休日に小学校２７校（うち３校は改築工事により事業休止中）の校庭を開放する校庭遊び場開放事業について、７年度は２８校（うち３校は改築工事により事業休止継続）に拡大して実施します。

【学びの機会の充実】

生涯学習課（９，０６６千円）

あらゆる世代の区民が充実した人生を送るため、区民のニーズに基づいた主体的な学びの機会を充実させます。また、区民の学びが地域活動やボランティア活動に結び付き、地域活動を通して更に学びが深まる「学びの循環」が地域社会に生まれるよう、多様な方法で区民の生涯学習活動を支援します。あわせて、オンラインによる講座の開催など、ＩＣＴを活用した学びの仕組みづくりを進めます。

【文化財の保存及び活用】

生涯学習課（５９，２３８千円）

本区に存する貴重な文化財が適切に保存・管理されるよう当該所有者等を支援するとともに、所有者や地域の方々との協働により、文化財の積極的な情報発信や新たな観光資源としての活用を図ります。また、指定・登録文化財以外でも、地域で大切に守り伝えられている文化的資源を、地域の歴史や文化を伝える大切な資源として継承していくとともに、地域の文化遺産として活用し地域の活性化を図ります。

【高齢者の健康づくりの推進】

生涯スポーツ課（８，３５８千円）

健康寿命の延伸と健康格差の縮小をめざし、高齢者が自主的・積極的に安心してスポーツを行うことができる環境づくりを推進します。また、スポーツ指導員やスポーツボランティアを養成し、各種教室やイベントで活用していくことで、高齢者が身近な地域で安全、安心にスポーツに取り組むことができるようにしていきます。これからスポーツを始める方、日頃からスポーツに取り組んでいる方が自身の体力状況を把握した上で運動の継続を促すための、体力テスト測定会を実施します。また、高齢者が手軽に取り組めるスポーツプログラムとして、本区の推奨スポーツであるグラウンド・ゴルフ、バウンドテニス、ダーツの３種目を普及促進します。さらに、身近な場所で手軽に取り組めるウォーキングを推進するために、ウォーキング・ランニング事業を実施します。

【障害者スポーツの推進】

生涯スポーツ課（９，０８５千円）

障害者が自主的かつ積極的に安心してスポーツ活動に取り組めるよう、障害者スポーツ指導員の養成と発掘をするとともに、年間を通して定期的に教室や開放事業を開催して指導員の活動の場を提供します。また、共生社会の実現に向けて、ユニバーサルスポーツの普及と発展及び指導員やボランティアの育成を目指します。

７年度は、東京２０２５デフリンピックを契機として、普及啓発イベントを実施します。

【区民健康スポーツ参加促進事業】

生涯スポーツ課（４０，１４０千円）

区民のスポーツ実施率を向上させるため、一般社団法人葛飾区スポーツ協会と連携して、スポーツ協会加盟４１団体が実施するスポーツ体験教室や大会、指導員養成等について支援します。これにより、区民が様々なスポーツに参加できる機会を提供し、いつまでも健康で過ごせるようにしていきます。かつしかふれあいRUNフェスタは、堀切水辺公園をメイン会場に荒川河川敷管理道路をコースとして実施しています。今後、おもてなしサービスやコースの充実等を図り、区民により身近なイベントとして、地域事業者や地域団体との連携を深めるとともに、家族みんなで参加者を応援することや、ボランティアとして大会に参加するなど、ランナー以外の区民も参加できる葛飾らしいイベントとしていきます。

【スポーツ施設の利用しやすい環境整備】

生涯スポーツ課（４４２，０９８千円）

スポーツ施設の利便性・安全性を向上させるための改修などに計画的に取り組み、安心して利用しやすい環境整備を進めます。

７年度は、奥戸総合スポーツセンター体育館・温水プール館のトイレ洋式化工事のほか、奥戸総合スポーツセンター陸上競技場の天然芝化工事、体育館照明器具等改修工事、陸上競技場照明改修工事及び荒川河川敷グラウンドトイレの改修工事に着手します。また、葛飾にいじゅくみらい公園テニスコート及び荒川・江戸川河川敷グラウンドトイレの改修設計を行います。

【スケートボード場の整備】

生涯スポーツ課（２６６，３００千円）

オリンピック競技大会における日本人選手の活躍でスケートボード競技の人気の高まり、区内でも愛好者が増えていることから、区民誰もが安心してスケートボードを楽しむことができる施設を小菅西公園内に整備します。

また、都立水元公園内へのスケートボード場の整備に向けて、東京都との協議や地域住民・スケートボード愛好者からの意見聴取を行い、基本計画を策定します。

【デジタル技術の効果的な活用推進】

中央図書館（３３，４７８千円）

近年、デジタル化の進展により社会環境が大きく変化している状況を受け、図書館においてもデジタル技術を積極的に活用することにより、図書館サービスの向上や業務効率化に取り組んでいきます。

（１）水元図書館及び奥戸地区図書館セルフ予約棚導入

利用者のプライバシーの確保や利便性向上のため、ＩＣＴを活用した自動貸出機、セルフ予約棚、簡易返却機などの設備を導入し、貸出・返却や予約した本等の受け取りについて、職員を介さず利用者自身で手続きを行うことができるシステムを整備します。

７年度は水元図書館、奥戸地区図書館に自動貸出機、セルフ予約棚及び簡易返却機を導入します。

（２）電子書籍事業の拡充

葛飾区立図書館では、来館しなくても誰でも気軽に読書を楽しめる環境を提供するため、令和３年９月からＩＣＴを活用した電子図書館を導入しています。

７年度は電子書籍のコンテンツ数をさらに増やすことに加えて、ナレーター等が書籍を朗読した音声データを聴く「オーディオブック」の提供を開始します。移動時間や家事の最中など、生活の中での「ながら読書」を可能とするほか、活字で読書が困難な障害者や高齢者など、誰もが読書できる環境の充実を図っていきます。

【「葛飾区立図書館の改修の考え方」に基づく整備】

中央図書館（４４０，４９６千円）

老朽化等に伴う施設・設備の改修にあわせて、「利便性の向上とプライバシーへの配慮」、「利用者への配慮」、「魅力的な空間づくり」に取り組んでいきます。

７年度は中央図書館、お花茶屋図書館、亀有図書館、水元図書館及び奥戸地区図書館の改修並びに図書館業務システムの機器更改等を予定しています。

【子ども読書活動推進に向けた取組】

中央図書館（３３３千円）

中学生対象の「かつしかっ子ブック事業」を拡充し、新たに小学５・６年生についても対象とします。葛飾区立図書館蔵書の電子書籍を利用できるＩＤとパスワードを児童に配付し、児童用タブレット端末を活用した取組を行っていきます。

【計画的・予防的な修繕の推進】

生涯学習課・生涯スポーツ課・中央図書館（一部再掲）（１９４，９６０千円）

公共施設をできる限り長く、安全かつ快適に使えるようにするため、計画的・予防的な修繕により、既存施設を維持・保全し長寿命化を図ります。施設の日常点検や各種調査結果を

生かしながら、葛飾区有建築物保全工事計画策定方針や保全工事計画に基づき、効果的・効率的な設計や工事に取り組みます。

7年度はお花茶屋図書館、郷土と天文の博物館及び奥戸総合スポーツセンター（温水プール館）にて修繕工事を行います。

【公共施設のトイレ環境整備の推進】

生涯スポーツ課・中央図書館（一部再掲）（58,133千円）

地域コミュニティ施設や公園等の公共施設に設置している和式トイレの洋式化などにより、施設を利用する誰もが快適に過ごすことのできる環境を整備します。

7年度は奥戸総合スポーツセンター（温水プール館）、お花茶屋図書館及び水元図書館にてトイレ洋式化工事を行います。